

令和8年7月28日

中学校長 様
義務教育学校長 様
中等教育学校長 様
英語科教員 様

全国英語教育研究団体連合会
会 長 石 田 健 司
(都立小山台高等学校長)
東京都中学校英語教育研究会
会 長 板 垣 繁
(葛飾区立上平井中学校長)
全国英語教育研究団体連合会
中学部会長 難 波 浩 明
(足立区立加賀中学校長)

第76回全国英語教育研究団体連合会総会
第76回全国英語教育研究大会（全英連静岡大会）
兼静岡県高等学校英語教育研究会研究大会・静岡県教育研究会英語研究大会
開催のお知らせ

酷暑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より、全国英語教育研究団体連合会(全英連)の活動にご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

さて、下記のとおり、第76回全国英語教育研究大会（全英連静岡大会）兼静岡県高等学校英語教育研究会研究大会・静岡県教育研究会英語研究大会を開催いたします。つきましては、貴校英語科教員へご案内いただきますようお願い申し上げます。なお、詳細につきましては、別添の開催要項をご覧ください。

記

1 開催関係団体

主 催 全国英語教育研究団体連合会(全英連)
後 援 文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会(申請中)
公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
大会運営 全英連静岡大会 2026 実行委員会
(静岡県高等学校英語教育研究会・静岡県教育研究会英語教育研究部)

2 目 的

「夢を広げる英語教育 ～未来を拓くグローバル人材のAgency育成～」

Agencyとは、自ら目標を定め、振り返りながら責任をもって行動し、変化を生み出す力です。子どもたちが未来を切り拓く“羅針盤”としてこの力を育めるよう、英語教育における学びの在り方を共に考えます。

3 期 日 令和8年 11月20日(金)・11月21日(土)

4 会 場 第1日目 11月20日(金) 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 大ホール・中ホール
第2日目 11月21日(土) 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ内各会場

令和8年6月2日

都道府県教育委員会教育長 様
区市町村教育委員会教育長 様
小学校・中学校・義務教育学校・
中等教育学校・特別支援学校・
高等学校の校長 様
英語担当指導主事 様
外国語活動・外国語・英語科担当者 様

全国英語教育研究団体連合会（全英連）
会長 石田 健 司
（東京都立小山台高等学校長）
全国英語教育研究会大会静岡大会実行委員会
委員長 神村 佳 代
（静岡県立浜名高等学校長）

第76回全国英語教育研究団体連合会総会・全国英語教育研究大会（全英連静岡大会）開催要項
兼 静岡県高等学校英語教育研究会研究大会・静岡県教育研究会英語研究大会 開催要項

このたび、標記総会及び研究大会を、下記要領により、1972年以来54年ぶりに静岡において開催する運びとなりましたので、御案内申し上げます。開催にあたりましては、これまで準備に御尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

さて、私たち静岡大会実行委員会は、「夢を広げる英語教育 ～未来を拓くグローバル人材のAgency育成～」を大会テーマに掲げ、本大会を企画いたしました。ここでいうAgencyとは、OECDラーニング・コンパスが示す「自ら目標を定め、他者と協働しながら、責任をもって未来を切り拓く力」を意味します。

これからの英語教育には、言語の知識や技能の習得に加え、多様な他者となつながら、対話と協働を通して新たな価値を創造する力を育むことが求められています。本大会では、小学校・中学校・高等学校における学びのつながりを踏まえながら、子どもたち一人ひとりの主体的な学びと、夢や未来に向かって挑戦する力をどのように育てていくかを、全国の皆様と共に考えてまいります。

英語教育が新たなステージへと進む今、理論と実践を往還しながら学び合う機会となることを願っております。全国各地から多くの皆様に御参加いただけますことを、心よりお待ち申し上げます。

記

1 開催関係団体

主 催	全国英語教育研究団体連合会（全英連）
後 援	文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会（申請中） 公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
大会運営	全英連静岡大会2026実行委員会 （静岡県高等学校英語教育研究会・静岡県教育研究会英語教育研究部）

2 目 的 「夢を広げる英語教育 ～未来を拓くグローバル人材のAgency育成～」

Agencyとは、自ら目標を定め、振り返りながら責任をもって行動し、変化を生み出す力です。子どもたちが未来を切り拓く“羅針盤”としてこの力を育めるよう、英語教育における学びの在り方を共に考えます。

3 期 日 令和8年11月20日（金）・21日（土）

4 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

5 日 程

第1日目 11月20日 (金) 会場：グランシップ 大ホール・中ホール

9:00～ 9:30 受 付

9:30～ 総 会

1. 開会の辞 2. 会長挨拶 3. 祝辞 4. 来賓紹介 5. 会務報告
6. 感謝状贈呈 7. 閉会の辞

10:45～12:15 記念講演

演 題：「次期学習指導要領を見据えた英語教育の未来について」 (仮)

講 師：細田 眞由美 氏

兵庫教育大学客員教授 教育政策アドバイザー

『世界基準の英語力』 (時事通信社) 著者

12:15～13:30 昼食・企業展示等見学

代表発表

静岡大会では、授業動画を用いた発表を行います。映像に字幕やキャプションを付し、授業者や児童・生徒の視点・思考を皆さまと共有し、また、発表者と指導助言者によるライブ解説も交え、授業研究を共に深めて参ります。当日は、2会場で異なる校種の発表を選んで、御覧いただけます。

13:30～14:40 代表発表第1部

会場 大ホール 小 学 校 発 表 者 富士宮市立上野小学校 教諭 椎原 美貴
富士宮市立芝富小学校 教諭 渡邊 里穂
富士宮市立大富士小学校 教諭 赤堀 幸一
指導助言者 京都橘大学 教授 中野 聡 氏

会場 中ホール 中 学 校 発 表 者 静岡市立東豊田中学校 教諭 松本 匡翼
指導助言者 静岡大学 教授 河村 道彦 氏

14:55～16:05 代表発表第2部

会場 大ホール 高等学校 発 表 者 静岡県立浜松北高等学校 教諭 金田 陽介
指導助言者 北海道大学 准教授 亘理 陽一 氏

会場 中ホール 中 学 校 発 表 者 静岡市立東豊田中学校 教諭 松本 匡翼
指導助言者 静岡大学 教授 河村 道彦 氏

16:05～16:10 翌日の連絡

16:10～16:40 展示ブースの見学等

18:30～20:30 懇親会 会場：NEEDS静岡 (旧 アーセンティア迎賓館静岡)

第2日目 11月21日 (土) 会場：グランシップ内各会場

8:45～ 9:15 受 付

9:15～10:45 (90 分) 分科会発表第1部

11:00～12:30 (90 分) 分科会発表第2部

*分科会資料は大会当日お示しするQR コードからウェブ上で配布します。スマートフォン、タブレットなどのデバイスを御持参ください。

*分科会の選択は、参加希望者数により、御希望に添えない場合がございます。

*第1日目の授業動画を6階展示ギャラリーで上映いたします。

【分科会発表第1部 分科会番号1～13】

番号	校種	テーマ	発表者	所属	指導助言者
1	小学	【代表発表】 こどもが主体的に外国語学習に取り組み、相手を意識して自分の考えや気持ちを伝え合う授業づくり	椎原 美貴 渡邊 里穂 赤堀 幸一	富士宮市立上野小学校 富士宮市立芝富小学校 富士宮市立大富士小学校	京都橘大学 教授 中野 聡
2	校	主体的に英語を聞いたり話したりする児童・生徒の育成 ～小・中の学びをつなぐ～	八木 悠	川根本町立光の森学園 (前期課程)	三島市立北上中学校教諭 (前 静岡大学准教授) 稲葉 英彦
3	中学校	話すこと [やり取り] における、思考力・判断力・表現力等を育成するための中間指導・中間評価に関する実践と研究	川村 遼	伊東市立対島中学校	東京家政大学 教授 太田 洋
4		生徒の主体性を育む協働学習の授業実践	杉山 大介	長泉町立北中学校	関西大学 教授 山野 有紀
5		【代表発表】 自分の想いを自分の言葉で表現できる生徒の育成 ～自己効力感の醸成を目指して～	松本 匡翼	静岡市立東豊田中学校	静岡大学 教授 河村 道彦
6		子どもの主体性の育成を目指して ～自分たちで創る授業を通して～	藤根 聖太	焼津市立焼津中学校	関西外国語大学 教授 直山 木綿子
7		主体的な読み “Proactive Reading” に関する実践と考察	鈴木 宏昌	湖西市立新居中学校	静岡大学 准教授 大瀧 綾乃
8	高等学校	英語教育における人間形成的アプローチの実践研究 ～自己認識とライティング評価の関係性を探る～	中村 賢晴	静岡県立御殿場南高等学校	武蔵野大学 特任教授 江原 美明
9		生成AIとオンライン英会話で育む英語学習におけるエージェンシー	石川 真由美	静岡県立静岡城北高等学校	静岡大学 名誉教授 白畑 知彦
10		探究型の外国語指導は、生徒の語彙力を適切に伸ばすことができるのか	田辺 大智 Sam Whitehead	静岡県立ふじのくに国際高等学校	静岡大学 教授 矢野 淳
11		「私たちはなぜ英語を教えるのか」を問い直す ～ちょっとだけイメージと「社会とつながる」授業実践～	久保田 愛	静岡県立磐田南高等学校	静岡文化芸術大学 非常勤講師 野村 賢一
12		スペリングエラーの分析と自律的学習者育成を目指した指導法	新田 泰祐	静岡県立浜松北高等学校	静岡県立大学 教授 須田 孝司
13		静岡県におけるディベート活動の高まり ～静英研ディベート普及委員会の歩みと授業への応用実践の報告～	望月 雄大 林 慈子	藤枝明誠高等学校 静岡県立清水東高等学校	敬愛大学 教授 向後 秀明

【分科会発表第2部 分科会番号14～26】

番号	校種	テーマ	発表者	所属	指導助言者
14	小学校	児童が主体的に活動に取り組むために ～ 「話すこと」における有効な手立てとは～	浅田 晃一	静岡市立宮竹小学校	静岡大学 教授 河村 道彦
15		その場でやり取りを継続することができる 児童の育成に向けて	牧野 翔真 中山 和明	磐田市立竜洋西小学校 磐田市立竜洋中学校	三島市立北上中学校教諭 (前 静岡大学准教授) 稲葉 英彦
16	中学校	沼津市統一パフォーマンス・デイを軸にし た言語活動の工夫	北川 諒 龍野 雅昭 大八木 誠也	沼津市立第一中学校 沼津市立大岡中学校 沼津市立戸田小中一貫学校	静岡大学 准教授 大瀧 綾乃
17		コミュニケーション能力の育成 ～複数の retelling活動を通して～	山田 隼也	三島市立錦田中学校	神奈川大学 教授 久保野 雅史
18		帯活動を支えとした生徒にゆだねる授業の 提案 ～「書くこと」を中心とした実践～	稲垣 研人	富士市立元吉原中学校	至学館大学 教授 山田 誠志
19		自分の思いや考えを主体的に英語で表現で きる生徒の育成	杉山 美加子	菊川市立菊川東中学校	常葉大学 教授 新妻 明子
20	高等学校	AI活用によるスピーキング力の向上 ～家庭 学習と授業の往還～	小舘 ゆう子	静岡県立裾野高等学校	東京国際大学 教授 布村 奈緒子
21		オンライン国際交流タスクを通しての学習 動機の変化	藤田 葉子	静岡県立沼津商業高等学校	武蔵野大学 特任教授 江原 美明
22		デジタル時代の英語学習における紙辞書の 可能性 ～Dictionary Walkingの実践～	小林 大介	静岡県立ふじのくに国際 高等学校	敬愛大学 教授 向後 秀明
23		英語は使って身に付ける ～コアラ・TANABU Model・三本木メソッド・山形スピークアウ ト・KitaCOMを全部やってみた！浜松湖南高 校・天竜高校での取組～	竹内 睦子	静岡県立天竜高等学校 (春野校舎)	東京学芸大学 教授 白倉 美里
24		【代表発表】 “One-Minute News” ～社会問題を自分事 化し、賛否を1分間で伝え合う帯活動～	金田 陽介	静岡県立浜松北高等学校	北海道大学 准教授 亘理 陽一
25		リテリングから自己表現へ ～段階的リテリ ング活動を通じた発信力育成の取組～	才田 由記 (代表)	静岡県立浜名高等学校	朝日大学 客員教授 亀谷 みゆき
26		多読+OUTPUT ～中高一貫校における多様な 場面での取組～	平川 由紀子 (代表)	磐田東中学校・高等学校	東京外国語大学 教授 工藤 洋路

13:00 ～ 静岡の魅力をお楽しみいただけるエクスカッション(予約制・当日受付はありません)

6 全国理事会（大会前日）日 時：令和8年11月19日（木）14:30～16:00

会 場：静岡コンベンションアートセンター グランシップ内910会議室

7 会 費

参加費 一般参加者 6,000 円、小学校教員 3,000 円、学生参加者 2,000 円

昼 食 弁当（お茶付き） 1,400 円 [20日(金)のみ]

懇親会 NEEDS静岡（旧 アーセンティア迎賓館静岡）8,500円

エクスカーション（清水～日本平コース）4,000円（昼食別 最小催行人数20名）

*参加費、昼食、懇親会、エクスカーションの費用は、事前振り込みをお願いします。

8 懇 親 会

参加者の皆様と、記念講演者、指導助言者、発表者の皆様が、気軽に交流し、懇談や情報交換を行う場として企画しています。多くの皆様の御参加をお待ちしております。参加を御希望される方は、後述のウェブサイトよりお申込みください。

日 時：第1日 11月20日（金）18:30～20:30

場 所：NEEDS静岡（旧アーセンティア迎賓館 静岡）JR静岡駅南口より徒歩5分

参加費：8,500 円（予約制：当日受付はありません）

9 エクスカーション

静岡の魅力をお楽しみいただけるエクスカーションを御用意しました。予約制にて、当日受付はございません。

コース 清水～日本平

価 格 4,000円（昼食別 最小催行人数20名）

旅 程 13:00 グランシップ正面玄関前発（貸し切りバス）

エスパルスドリームプラザにて自由昼食

日本平夢テラスにて富士山駿河湾展望

16:30 静岡駅南口着

10 参加申し込みおよび会費納入方法

- (1) 参加は、後述の専用サイトに必要事項を記入しウェブ申し込みしてください。ファックスでの申し込みはございません。大会参加のみ、当日受付もしていますが、申込期限後にお申し込みされた場合は、参加者名簿には掲載されませんのでご了解ください。
- (2) 事前申し込みは、7月22日（水）10:00～9月23日（水）17:00の期間にお願いします。
- (3) 申し込み後、ウェブサイトに予約内容が反映されますので御確認ください。
- (4) 費用明細につきましてはウェブサイトで確認の上、9月25日（金）17:00までに、クレジットカード支払いもしくは指定口座へのお振込みをお願いいたします。（手数料は参加者負担となりますので、ご了承ください）

*参加申し込み第2期 9月28日(月)～10月9日(金) 17:00 費用お振込み期限 10月13日(火)といたします。
--

- (5) 「大会参加証」をお申込みウェブサイトのマイページより御自身で印刷をお願いいたします。当日、受付にて御提示ください。旅行業者（東武トップツアーズ株式会社）からの発送はございません。
- (6) 旅行業者の宿泊斡旋を希望されない方も、参加申し込みおよび大会参加費、紀要代金等は当ウェブサイトでの登録・お支払いが必要です。
- (7) 申し込みウェブサイト（「全英連静岡大会」で検索することもできます）
<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/englishshizuoka2026/>

11 宿 泊

大会前日11月19日（木）と大会初日11月20日（金）の宿泊（1泊朝食付）を斡旋します。上記ウェブサイトでお申し込みください。

12 『第76回全英連静岡大会紀要』予約受付

大会紀要(1,500円送料込)を御希望の場合は、上記ウェブサイトでお申し込みください。大会当日の受付でも申し込みが可能です。「紀要」がお手元に届くのは、令和9年3月頃となります。なお、DVDの販売は予定しておりません。

13 著作権・肖像権・知的財産権について

本大会の記念講演、代表発表、分科会発表において、講演者・発表者が提供するすべての知的財産(講演内容、発表内容、論文データ等)権、及び肖像権、その他の一切の権利は、全英連及び講演者・発表者に帰属します。

14 会場へのアクセス

第1日及び第2日

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号 TEL 054-203-5713

- JR静岡駅から東海道本線乗り換え3分 JR東静岡駅南口から徒歩5分
- 富士山静岡空港から静鉄バスで静岡駅へ50分 東海道本線乗り換え3分 JR東静岡駅南口から徒歩5分

15 連絡先

(1) 【大会参加についてのお問い合わせ】

東武トップツアーズ株式会社 浜松支店

(第76回全英連静岡大会担当：江間、天野、河合)

〒430-0944 静岡県浜松市中央区田町324-3 出雲殿互助会田町ビル6F

TEL: 050-9001-9699 Mail: zeneiren2026_shizuoka@tobutoptours.co.jp

(2) 【大会についてのお問い合わせ】

〈高等学校〉

全英連静岡大会実行委員会 総括事務局

坂野 哲也 静岡県立静岡城北高等学校 教頭

TEL 054-245-5466 mail: tetsuya01.sakano@edu.pref.shizuoka.jp

〈小学校・中学校〉

全英連静岡大会実行委員会 総括事務局

篠宮 広樹 藤枝市立大洲中学校 教諭

TEL 054-635-2440 mail: hiroki27691@teacher.fujieda.ed.jp